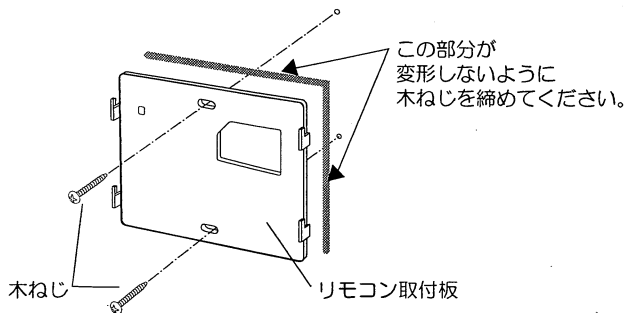


リモコン取付説明書

EPTOS-RS6311

リモコン取り付けについてのお願い

- ①リモコンの取り付けは、極力平らな壁面を選び、木ねじで締めつけ過ぎないように注意してください。(下図を参照ください)
 - ②リモコンを取り付ける時に、リモコンケーブルをかみ込まないようにしてください。
- ※①、②をまもらないと、リモコンが取り付けなかったり操作を受け付けなくなることがあります。



リモコン取り付けについてのお願い

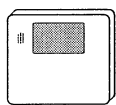
- リモコンを取り付ける際には必要により指定の別売品を使用し、この取り付け説明書の注意事項をまもってください。まもっていただけない場合は、保証しかねる場合があります。
- 製品の漏電しゃ断器を必ず「切」にして工事をしてください。感電の原因になります。
- リモコンのケースに止めてあるねじは外さないでください。故障の原因になります。
- ねじの締め付けに、電動ドライバーを使用しないでください。端子やリモコン取付板等が破損・変形するおそれがあります。
- 極力、付属のねじを使用してください。
- タイル、コンクリート、モルタルなどの壁のとき、オールプラグを壁に打ち込んでから、木ねじで取り付けてください。



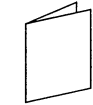
- 操作がしやすく、表示が見やすい場所に取り付けてください。
- 必ず平らな壁面に取付けてください。変形し、操作ができなくなることがあります。
- スピーカー部に鉄粉が付着する場所におかないでください。故障の原因になります。
- ケーブル長が50m以内となる場所に取り付けてください。操作ができなくなる場合があります。

別売部品

リモコンケーブル
HWH-205C (20m)
HWH-505C (50m)



リモコン



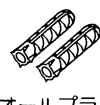
取付説明書



リモコン取付板



Y形圧着端子
2個



オールプラグ
2個



皿小ねじ
2本



木ねじ
2本



ケーブル押え
5N 1個
(2本止め用)



ケーブル押え
3N 1個
(1本止め用)

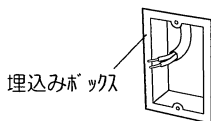
1. 壁貫通取付け工事例

2. ケーブル露出取付け工事例

■リモコン取付場所の選定

- ・極力平らな面で、ネジの締めつけ後もリモコンが変形しない場所を選定してください。
- ・上記の【リモコン取り付けについてのお願い】を参照してください。
- ・電磁調理器や高周波機器の近傍は避けてください。不動作の原因になることがあります。

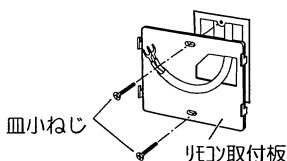
- 1 リモコンケーブルを、埋め込みボックスまで引き込みます。



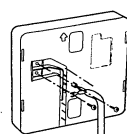
- 2 リモコンケーブルの先端を、約6mm 皮むきし、付属のY形圧着端子を加締めます。
※適合圧着工具：YHT-2210
(日本圧着端子製造(株))



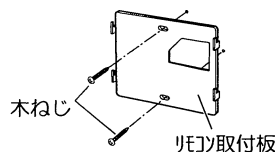
- 3 リモコン取付板は、取付板の穴にケーブルを通してから、埋め込みボックスに付属の皿小ねじで止めます。



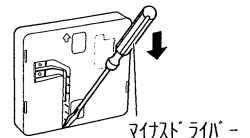
- 4 リモコンに、Y形圧着端子の付いたリモコンケーブルをねじ止めします。



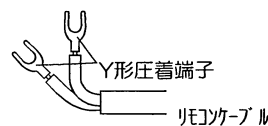
- 1 リモコン取付位置に、リモコン取付板を付属の木ねじで壁に止めます。



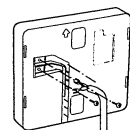
- 2 リモコン裏の下側にある、ツメを取ります。ツメはドライバーを溝に入れ、下方向に倒せば取れます。ラジオペンチで取るときは、先端でつまみあげて取ります。



- 3 リモコンケーブルの先端を、約6mm 皮むきし、付属のY形圧着端子を加締めます。
※適合圧着工具：YHT-2210
(日本圧着端子製造(株))



- 4 リモコンに、ケーブルをねじ止めし、リモコンの溝に沿わせします。この時、端子部付近のケーブルにリモコン裏面よりはみ出さない程度のたるみを持たせてください。



- 5 リモコン取付板にある、4ヶ所のフックにリモコンを差し込み、『カチッ』と入り込むまで下にスライドさせます。【取り外す場合は、逆の動作で外します】

